

英語科学習指導案

日 時 平成 24 年 6 月 19 日
 展開学級 2 年 H 組
 展開場所 英 語 5 教 室
 指 導 者 鈴 木 貴 之

単元名 NEW CROWN BOOK2 Lesson 3 For Our Future

1 単元の目標

- (1) 級友にインタビューして、級友と自分の予定を発表する。
- (2) ニュースや天気予報を聞いて、要点を聞き取る。
- (3) パンフレットを読んで、書き手の意向を読み取る。
- (4) 聞き手が理解しやすいように工夫してインタビューする。またはプレゼンテーションをする。
- (5) 未来を表す表現 **will**、未来を表す表現 **be going to**、接続詞 **that** に関する知識を身に付ける。

・本単元の指導に当たっての考え方

本単元は、ラージとエマが世界の子どもたちが集まる国際会議について話し、メイリンが会議で発表するナシードにインタビューするという場面である。未来を表す表現 **will**、**be going to** や自分の意見を表現する **I think that** などの表現を用いて、実際に級友にインタビューして、級友と自分の考えを発表できる力を養う。本単元の最後には、環境問題を題材にグループでプレゼンテーション活動を行う。したがって、自分の調べたことや考えを書いたりする時に必要な表現やその使い方を教科書を通して学び、その感想を含めて英文で表現できる力を養う。グループ内では、それぞれが役割を持ち協力してプレゼンテーションを行えるようにする。

2 生徒の実態(男子 19 名、女子 18 名 計 37 名)

〈省略〉

3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
①聞き手が理解しやすいように工夫してインタビューしている。	①級友にインタビューして、級友と自分の考えを発表することができる。	①パンフレットを読んで、聞き手の意向を読み取ることができる。 ②ニュースや天気予報を聞いて、要点を聞き取ることができる。	①未来を表す表現 will 、未来を表す表現 be going to 、接続詞 that に関する知識を身に付けている。

4 指導と評価の計画 (14 時間)

時間	○ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る ・ warm-up として、地球の写真から見える物や地球の状態について知っていることをたずねたり、写真やDVDを活用して対話する。 ・ 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。	エの①	活動の観察
	○未来を表す表現 will を用いた文の構造を理解する。 ・ 未来を表す表現を用いた文の構造を知る。 ・ 教科書本文を通して、未来を表す表現の使い方を理解する。 ・ 教科書本文の内容を理解し、音読練習をする。	エの①	後日ペーパーテスト
2	○未来を表す表現 will の文の構造を理解し、使う。 ・ 教科書本文がすらすらと読めるようにする。 ・ 未来を表す表現 will を用いた文が聞き取れるようにする。 ・ ペアで未来を表す表現 will を用いた文が使えるようにする。 ・ 未来を表す表現 will を用いた文が書けるようにする。	エの①	後日ペーパーテスト
3	○未来を表す表現 be going to~を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書本文を通して、未来を表す表現の使い方を理解する。 ・ 教科書本文の内容を理解し、音読練習をする。	エの①	後日ペーパーテスト
4	○未来を表す表現 be going to~を用いた文の構造を理解し、使う。 ・ 教科書本文がすらすらと読めるようにする。 ・ 未来を表す表現 be going to~を用いた文が聞き取れるようにする。 ・ ペアで未来を表す表現 be going to~を用いた文が使えるようにする。 ・ 未来を表す表現 be going to~を用いた文が書けるようにする。	エの①	後日ペーパーテスト
5	○接続詞 that を用いた文の構造を理解する。 ・ 接続詞 that を用いた文の構造を知る。 ・ 教科書本文を通して、接続詞 that の使い方を理解する。 ・ 教科書本文の内容を理解し、音読練習をする。	エの①	後日ペーパーテスト
6	○接続詞 that を用いた文の構造を理解し、使う。 ・ 教科書本文がすらすらと読めるようにする。 ・ 接続詞 that を用いた文が聞き取れるようにする。 ・ ペアで接続詞 that を用いた文が使えるようにする。 ・ 接続詞 that を用いた文が書けるようにする。	エの①	後日ペーパーテスト
7	○本文のあらすじを読み取る。 ・ 教科書本文を読む前に、タイトルや挿絵から内容を推測する。 ・ 本文を黙読し、いつ、誰が、何をしたのか、大まかな内容を読み取る。	ウの①	後日ペーパーテスト

	<ul style="list-style-type: none"> ・単語、連語の意味や発音を確認する。 		
8	<p>○本文の内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語、連語の意味や発音を確認する。 ・音読練習する(レポート、バズ・リーディング、ペア・リーディング等)。 ・感想の表現を使って、簡単な感想を書けるようにする。 	ウの①	後日ペーパーテスト
9	<p>○ニュースや天気予報を聞いて、要点を聞き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語ニュースを聞き取る。 ・英語ニュースや天気予報を聞き取る。 ・各地の天気についてレポートする。 	ウの②	後日聞き取りテスト
10	<p>○提案文を読んで、内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を読んで、大まかな内容を理解する。 ・内容から、環境問題についてグループでさらに詳しく調べたいテーマを決める。 ・どんな点について調べるか話し合う。 	アの①	行動の観察
11	<p>○意見を交換し合い、考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて、自分の考えを英語4文程度で書く。 ・同じグループでお互いの意見を交換し合う。 ・全員でもう1度話し合い、発表の計画をたてる。 ・役割分担をする。 	イの①	行動の観察
12	<p>○級友にインタビューして、級友の意見を書き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて別グループの級友にインタビューして、意見をまとめる。 ・グループ内で話し合い、プレゼンテーションの準備を進める。(CAI室を使用) 	イの①	行動の観察
13	<p>○プレゼンテーションの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割ごとに準備を進める。 ・プレゼンテーションの練習をする。 	イの①	行動の観察
14 (本時)	<p>○プレゼンテーションを行い、調べた内容や自分の考え、級友の考えを相手に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題をテーマにしたプレゼンテーションを各グループごとにパワーポイントを使って、発表する。 ・プレゼンテーションを終えたグループに、感想を言う。 	イの①	行動の観察

5 本時の指導（第14時）

（1）本時の目標

- ①環境問題に関するプレゼンテーションを行い、調べた内容や自分の考え、級友の考えを相手に伝える。
- ②環境問題に関するプレゼンテーションを聞いて、自分の考えや感想を伝える。

（2）展開

過程	学習内容と生徒の活動	指導上の留意点	評価
挨拶(1分)	○英語で挨拶をする。 T: Good morning, everyone. S: Good morning, Mr.Suzuki. ・曜日、日付、天気等についても答える。	・英語学習の雰囲気作りをする。	
Warm-up (5分)	○ラインゲームをする。 T:What do you think about the color of Doraemon? S:I think that he is blue. ・発表がスムーズに進むよう本単元に関する語句や表現を取り入れる。	・和やかな雰囲気ですべてを進めていく。	活動の観察
復習(8分)	○未来を表す表現を確認する。 ・モニター画面に映し出される画像を見ながら教師の質問に答える。 T:What is he going to do? S:He is going to eat it.	・写真を提示することによって、生徒の興味を引く ・前時に学習した Will it be...や Is it going to be...を中心に既習事項を用いた質問をする。	
展開 (34分)	○環境問題をテーマにしたプレゼンテーションを各グループごとにパワーポイントを使って、発表する。 ・leader(自分のグループのプレゼンテーションに合わせて指示を出す。別グループのプレゼンテーションに対して感想を言う。) ・editor(パワーポイントで画面を操作する。事前準備では画像の収集と編集を担当。) ・interviewer(別グループに質問する。また、質問に答える。) ・writer(中心になって英文を音読する。事前準備では主に英文作成を担当。) ※英文の音読は writer が中心だが、全員が発表する。	・プレゼンテーションがスムーズに進行するように支援する。 ・自分のグループの進行がスムーズにいくように支援をする。 ・英文の読み上げに対し、適切に画像を送れるようにする。 ・質疑応答がスムーズにいくように支援する。 ・できるだけ聞き取りやすいように音読できるように支援する。 ・クイズの進行がスムーズにいくように支援する。	発表の観察 (目標①) 活動の観察 (目標②)

	<p>※各グループからクイズを出題する生徒がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの役割分担に従って、プレゼンテーションを進めていく。 クイズには、生徒だけでなく先生たちにも一緒に考えてもらうように伝える。 <p>〈各グループのテーマ〉</p> <p>Group1 竜巻 Group2 放射能 Group3 竜巻 Group4 生態系の破壊 Group5 地球温暖化 Group6 資源の減少 Group7 酸性雨 Group8 液状化</p> <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションを終えたグループの評価シートを記入する。 プレゼンテーションを終えたグループに、感想を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に記入できるよう支援する。 事前に学習した感想や自分の考えを伝える表現を進んで使うように支援する。 	ワークシート
まとめ (2分)	<input type="radio"/> 次時の連絡 <input type="radio"/> 挨拶		

(3) 本時の評価

- ①環境問題に関するプレゼンテーションを行い、調べた内容や自分の考え、級友の考えを相手に伝えることができたか。
- ②環境問題に関するプレゼンテーションを聞いて、自分の考えや感想を伝えることができたか。